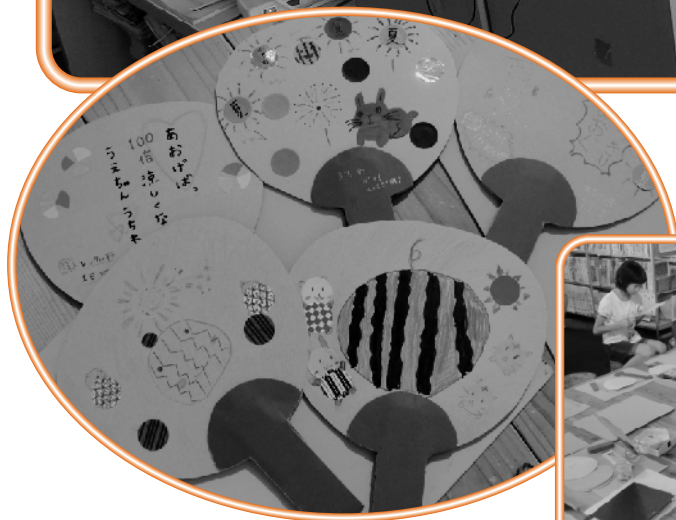


アトマ

— 岩手県民の手と手をつなぎ、環境の輪を広げるために —



大人気!
エネルギーコーナー



青少年活動交流センター主催のイベント「アイーナ博士」で、キューブびんキャンドル作りとうちわ作り、編み物体験を行いました。夏のイベントも、おかげさまで大盛況で終わることができました。冬のイベントもお楽しみに!!

Index

○センター情報

- ・展示
- ・エコカーゴが行く! ~第9回~
- ・講師派遣のご案内

○団体紹介~県内企業編~

<釜石市>新日本製鐵株式会社棒線事業部釜石製鉄所

○県内イベント報告

○県内イベント情報

○特集コラム

竹花悠さんのオーストラリア通信 vol.2



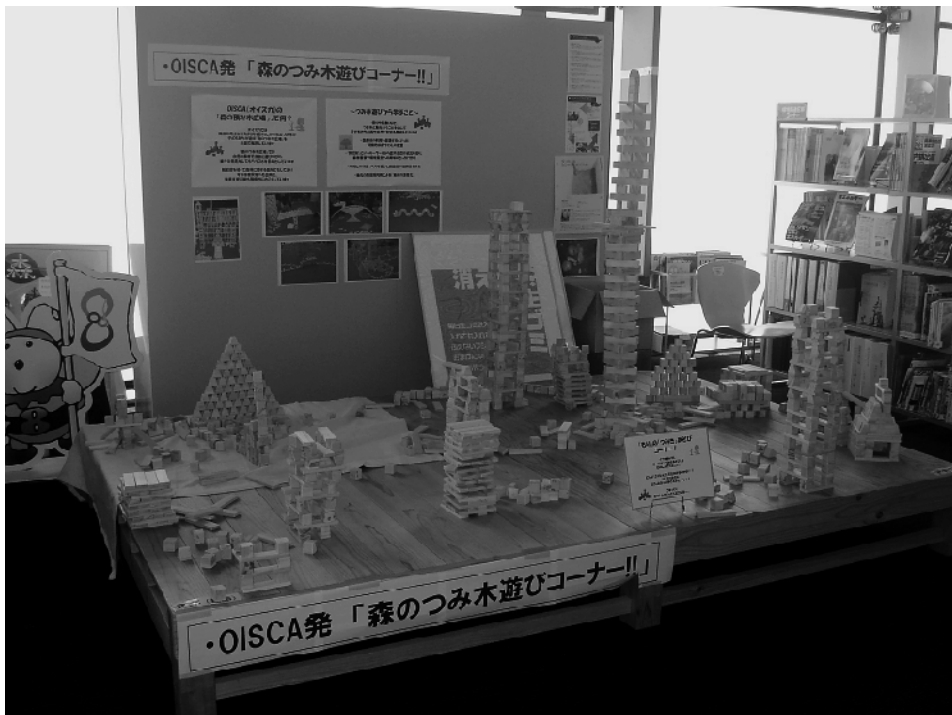
◎展示

OISCA発 「森のつみ木遊びコーナー!!」

<http://www.oisca.org/project/japan/block.html>

公益財団法人OISCA（オイスカ）の「森のつみ木広場」からお借りしている積み木を、センターで展示しています。国産の間伐材有効利用を目的に作られた積み木で、自然の素材で自由に遊びながら様々な発見をしてもらうことを目的としています。今後は、岩手県産の杉の間伐材を使った積み木を、いわて森のつみ木広場実行委員会からご提供いただく予定です。

靴を脱いで、実際に手に取って、自由に遊んでみてください。感触、匂い、形、音…五感を使って木のぬくもりを感じることができますよ♪



「キューブびんキャンドル作り」

日時：8月4日（木）

場所：第2篠木なかよしクラブ学童

今回は、学童にお邪魔してキャンドル作りを行いました。とてもアットホームな雰囲気、子どもたちのまあ元気なこと！キャンドルを溶かして準備している時から「何してるの～？」と興味津々。キューブびんキャンドルがリサイクルで出来ていることも、真剣に聞いてくれました。完成した素敵なキャンドル、みんなお家で灯してくれたかな??（^^）



エコカーゴが行く! 第9回

その他、こんなところにも行きました!

・環境学習会

出動日：8月1日(月)、2日(火)、5日(金)
場 所：遠野市青笹児童館、白岩児童館、遠野児童館

・町内会盆踊り大会

出動日：8月7日（日）
場 所：みたけ北町内会

・キューブびんキャンドル作り

出動日：8月10日（水）
場 所：第1篠木なかよしクラブ学童

・8/28復興イベント —明日への祈り—

出動日：8月28日（日）
場 所：野田村役場前広場

・北上市環境展

出動日：9月24日(土)、25日(日)
場 所：北上市文化交流センター さくらホール

・第2回くちない星まつり

出動日：9月30日（金）
場 所：北上市口内交流センター

・宮古市産業まつり

出動日：10月1日(土)、2日(日)
場 所：宮古市民総合体育館

・エコカーゴがやってくる!

出動日：10月9日（木）
場 所：イオン前沢店 店頭

・しずくいし産業まつり

出動日：10月22日(土)、23日(日)
場 所：雫石町総合運動公園

・第14回岩手県立大学大学祭

出動日：10月30日（日）
場 所：岩手県立大学

Information

「いわて環境情報板」のwebページが出来ました。岩手県や県内自治体の環境情報、関連イベント情報などを中心にお伝えします。毎月末更新していますので、お楽しみに!
<http://www.iwate-eco.jp/know/mailmag.html>

講師派遣のご案内

岩手県では、環境に関する講座やイベントで講師を務める、環境アドバイザーや地球温暖化防止活動推進員を無料で派遣しています。

講師の派遣事業は、県民の方が、地球温暖化や環境問題に関する研修会等を開催する場合に、その研修会の講師として、地球温暖化防止活動推進員や環境アドバイザーを派遣する事業です。

平成23年度は、地球温暖化防止活動推進員に41名、環境アドバイザーに70名が登録されています。

環境アドバイザーとは？

県内在住の環境保全についての有識者や環境保全活動実践者です。

●派遣例

- ・自然観察会
- ・工作体験
- ・ネイチャーゲーム
- ・衣類のリフォーム講座
- ・カヌー体験や水生生物調査…など



地球温暖化防止活動推進員とは？

県内在住の、地球温暖化防止・エネルギー対策について知見のある方々です。

●派遣例

- ・小中高校生向けの授業
- ・節電対策講座
- ・エコドライブ講習会
- ・エコ石けん、マイ箸作り体験
- ・地域や企業の取り組み紹介、アドバイス…など



★ご利用いただいた皆さんの声★

- ・森へ入るときのマナーや生態系について目の前の植物を例に挙げながらわかりやすく解説していただいた。親子が一緒に夢中になって森と親しむ時間を共有することができました。（環境アドバイザー／自然観察会）
- ・「地球のために スイッチオフ」と題して、家庭でできる節電を講演をいただいた。具体的で分かりやすい内容が参加者に好評でした。（地球温暖化防止活動推進員／女性団体の研修会）



＜派遣の流れ＞ ※環境アドバイザー・地球温暖化防止活動推進員共通

主催者

- ① 講座の概要（内容・日程等）を決め、事務局へ申込書を提出

※原則、実施日の2週間前までに提出ください。
※希望の講師がいる場合は、希望講師名を明記してください。

- ④ 講師と直接打ち合わせ

※通知書に講師の連絡先が記載されていますので、直接講師と打合せをしていただきます。

- ⑤ 開 催

- ⑥ 終了後5日以内に報告書を提出

事務局

- ② 内容を確認。講師へ依頼

※講師の都合により、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

- ③ 講師承諾の場合、通知書を送付

※講師の都合により、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。



- ⑦ 謝金支払処理

※報告書を受け取り次第、講師へ謝金・旅費の支払い手続きを行います。

- 講師派遣に係る謝金・旅費は一切かかりません。※工作材料等の実費分は、原則として主催者にご負担いただきます。
- 講師やテーマについてご質問やご希望がありましたら、事務局までお気軽にご相談ください。
- 申請書は、事務局ホームページからダウンロードできます。

お問合せ：環境学習交流センター／岩手県地球温暖化防止活動推進センター TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753
<http://www.aiina.jp/environment/O6kousi/kousihaken.html>

団体紹介 ～県内企業編～

新日本製鐵株式会社棒線事業部釜石製鉄所

棒線事業部釜石製鉄所は、タイヤスチールコード用線材をはじめとするハイグレード鉄鋼製品の製造とともに、環境保全にも積極的に取り組んでおり、製造過程での省エネ化や、木質バイオマス混焼発電によりCO₂削減にも貢献しています。今回、総務部の大森さんと広報担当の及川さんに工場を見学させていただきながら、環境への取組について伺いました。

【電力工場（IPP発電所）】

県内唯一の火力発電所であり、岩手県内の総電力量の3割を占めています。平成22年度は10月から木質バイオマスの混焼を始め、1,400 tのCO₂削減に貢献しました。平成23年度は、年間5,000 tの木質バイオマス使用で、7,000 tのCO₂削減が見込まれます。

…木質バイオマス活用のポイント…

釜石市の「緑のシステム創造事業」により、林内放置されていた未利用資源を木質バイオマスとして活用できるようになりました。官民連携による研究会を立ち上げ、これにより事前処理会社の「三陸バイオマス(株)」を設立し、釜石地方森林組合から購入した間伐材の破碎・乾燥・保管を行っています。今年度はすでに約3,700 tの間伐材を購入しているとのことで、敷地内に運び込まれた丸太からは杉の木のいい香りが漂っていました。これを破碎機で長さ50mm程の釘状のチップにし、広大な保管庫で乾燥させます。このチップを石炭に混ぜて燃焼させます。



破碎機



購入した間伐材



チップ保管庫の様子

主燃料の石炭は、密閉型（筒状）のパイプコンベアで石炭ヤードに運ぶことで、粉じん飛散等を防止しているそうで、ここでも環境保全の取り組みが伺えます。投入された石炭と木質チップは石灰粉砕ミル（巨大な石臼のような機械）ですり潰し、ボイラーで混焼します。このボイラーで発生させた蒸気で巨大なタービンを回し、発電しています。その時出る石炭灰は、セメントの原料として再利用されます。また、一度使われた蒸気は冷却・回収することで、循環再利用が可能になります。冷却水は通常海水を使用することが多いのですが、釜石では冷却塔で地下水を循環使用し温排水を排出しない方式としています。



石炭投入口（左）と木質チップ投入口（右）



燃焼させる部分（左）と発電させる部分（右）。隣接している。



～インタビュー：総務部小笠原さんのお話～

— 被災地における発電所として —

「夏季の電力需要に応えるべく急ピッチで作業を進め、7月1日に電力工場を再開することができました。その間、警察・自衛隊等への施設・用地の提供、避難所への物資の輸送や瓦礫置き場の提供、工場内の大浴場の解放などを行いました。そこで実感したのが、私たち一人ひとりが本当に地域を支え、そして地域に支えられているんだ、ということです。お客様や地域があったの会社なのだとことを、非常に強く感じました。」

— 新エネルギーへの転換について、今後の展望 —

「釜石製鉄所の主力製品である線材の加熱炉用重油を、木質ガスに置き換えることの可能性についても検討しており、実用化できれば、利用できる木質バイオマス資源の総量は2倍の1万 t、雇用規模60人を見込んでいます。そのためには行政との連携が不可欠ですが、我々としては、まずこの計画を実現するための技術力を持つべく、海外も視野にいれて奔走しているところです。」

県内イベント報告

第1回こどもエコクラブ交流会 in 盛岡市外山森林公園

2011年9月18日(日) 10:00~16:00

今回の交流会は盛岡市玉山区にある外山森林公園に行ってきました! 参加者は総勢56名(沢山の参加ありがとうございます!)。前日夜から大雨が降るなか迎えた当日でしたが、幸運にも一度も降ることなくすべての活動を実施することができました。

午前中はみんなで野外炊事。協力してキノコピザとソース焼きそば、オニオンスープを作りました。子供たちが盛り付けた山盛りキノコのピザは、公園スタッフの方に炭焼き釜でこんがり焼いていただきました。生地はパリパリ、香ばしいキノコととろとろのチーズは大人にも子供にも大好評。大自然の空気と共に、おいしくいただきました。

午後は月影の滝と吊り橋に向かいながらのキノコ採り。講師のキノコ博士・佐竹さんのお話も伺いながら、それぞれ目に入ったキノコを採り歩きました。アミタケやナラタケ(ボリ)、そしておーっきなポルチーニ茸など沢山のキノコが採れました(中にはやっぱり毒キノコも...)。みんな自分が採ったキノコに興味津々で、先生の周りを取り囲んで名前を聞いていました。片道1時間で月影の滝に到着。そして帰りは心臓やぶりの階段を登り切り、当日のプログラムを終えました。

自然の中で解放された子供達の目はいつもキラキラしています。次回は一泊で2月に開催予定。今から雪遊びが楽しみです!



県内のイベント情報

○イベントの詳細については、それぞれの団体へお問合せください。

①スノーワンダーランド

【日時】1月3日(火)~16日(月)

【参加料】65,000円

(食費、宿泊費、保険料込み)

【集合場所】1/3(火)

いわて沼宮内駅 13:40

【解散場所】1/16(月)

いわて沼宮内駅 15:00

【定員】36名

(小学1年生~中学3年生)

②網張の森雪上自然観察会

【日時】12月18日(日)

10:00~14:30

【参加料】大人 800円

小学生 600円

(温泉入浴料含)

【集合場所】

網張ビジターセンター

【定員】30名

③岩手山麓に伝わる手づくり体験

【日時】1月22日(日)

9:30~15:00

【参加料】2,000円

(材料費、温泉入浴料含)

【集合場所】

網張ビジターセンター

【定員】30名

④相の沢~春子谷地展望台スノーシューツアー

(たきざわ自然情報センターと共催)

【日時】2月25日(土)

9:40~14:30

【予備日】2月26日(日)

【参加料】大人 600円

小学生 400円

【集合場所】

相の沢登山口(駐車場)

【定員】30名

⑤森のクリスマスリース作り

【日時】11月13日(日)~

12月23日(金・祝)の土・日・祝

【集合場所】

ネイチャーセンター

【参加料】材料代 300円

⑥虫の眼で見るネイチャーランド

【日時】1月15日(日)

10:00~12:00

【集合場所】

ネイチャーセンター

※予約不要、参加料無料

⑦植物の不思議探検隊

【日時】2月19日(日)

【集合場所】

ネイチャーセンター

※予約不要、参加料無料

●お問合せ●

①くずまき高原牧場スノーワンダーランド実行委員会

TEL: 019-566-0555

FAX: 019-566-0511

E-mail: kimura@kuzumaki.jp

②~④網張ビジターセンター

TEL: 019-693-3777

FAX: 019-693-3778

⑤~⑦岩手県滝沢森林公園

野鳥観察の森 ネイチャーセンター

TEL/FAX: 019-688-5522

○環境イベントの情報をお持ちの方は、環境学習交流センターまでお知らせください。チラシやポスター等も掲示させていただきます。

竹花悠さんの オーストラリア 通信 Vol.2

今回は、オーストラリアでの農業生活についてお伝えします！

みなさん、「オーギービーフ」という言葉は聞いたことがありますよね。このオーギー(AUSSIE)とは、

「オーストラリア」という意味があり、現地の人を指すときにも使います。この、よく見たり聞いたりするオーギービーフ。それほど私たちの身の回りにあり、食しているということです。日本の牛肉の自給率は半分以下です。そのため他国から輸入をしています。輸入の約7割はオーストラリアが占めています。



牛肉だけでなく、ラム肉や小麦、ワインなどオーストラリアでは様々なものを作り輸出しています。オーストラリア大陸は、世界で最も乾燥した大陸であり、年間降水量は460mmと少なく、また、土地も痩せているため、自然環境は必ずしも農業に適したものではありません。しかし、それは主に中心部であり、沿岸部などの最も雨が多い多雨地帯では、酪農、さとうきび、子羊の飼育なども集約的に展開されています。

オーストラリアの農地面積は4億9千万km²で国

土の64%を占め、1農場当りの平均面積は3,100haと日本の2,000倍以上の面積となっています。その広大な面積のため、耕作にはできるだけ多くの人手と時間を要します。

そこで、オーストラリアではファームステイという形をとっている農家も多いです。それはファーム（農場）のお手伝いをする代わりに無料でステイ（滞在）ができるというもの。食事は自炊のところ、3食出してくれるところと農家により様々です。私が滞在していた家庭では、主にガーリックの栽培と乳牛の飼育を行っていました。農作業と一緒にし、会話をし、それと同時に相手国の文化や習慣も学ぶことができるのでいい体験になります。



日本の食糧自給率は、たったの40%。オーストラリアだけでなくアメリカ、ブラジル、中国、インドネシアなどの多国から多くのものが輸入されています。私たちが普段何気なく口にしているもの、今度買い物に行った際、どこの国の人が愛情を込めて作っているものなのかをチェックしてみたいかがでしょうか？

貸出物をご利用ください

環境学習交流センターは、地球温暖化をはじめ環境問題に関するパネルや紙芝居、様々な発電を体験できる実験キットなどを貸し出しております。環境に関するイベントや、学校での環境学習などにお役立て下さい。

申込方法など詳しい情報は、環境学習交流センターまでお問合せ下さい。また、センターのホームページでも紹介しております。

<http://iwate-eco.jp/use/lending-goods.html>

センター通信

スタッフのつぶやき

釜石製鉄所への取材は、電車で伺いました。道中、車窓からみる山々がうっすら色づき始めていて、「もう秋だなあ」としみじみ感じました。今年は特に美しい紅葉になるそうなので、ぜひ見に行きたいなと思います。

(H)

発行 環境学習交流センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F
TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

E-mail: eco@aiina.jp

<http://www.aiina.jp/environment/>

◎環境学習交流センターは、特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが岩手県から委託を受けて運営しております。